

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 岡山大鵬薬品株式会社		住所 〒 705-8555 岡山県備前市久々井 1775-1										
本票作成	部署名：総務部												
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業										
事業の概要	医薬品製剤製造業 従業員：209人												
県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地										
	①	本社工場	岡山県備前市久々井 1775-1										
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500㎘以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数) 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台												
温室効果ガス排出量	基準年度(令和 5 年度)	(令和 6)年度排出量	目標年度(令和 7 年度)										
	4,025 t CO ₂	1,080 t CO ₂	3,905 t CO ₂										
	番号	工場等の名称	(令和 6)年度排出量										
	①	本社工場	1,080 t CO ₂										
			t CO ₂										
			t CO ₂										
			t CO ₂										
主な工場等の排出量			t CO ₂										
			t CO ₂										
			t CO ₂										
			t CO ₂										
			t CO ₂										
			t CO ₂										
			t CO ₂										
削減目標の達成状況	計画期間：令和 6 年度～令和 7 年度 (2 箇年度)												
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(6) 年度削減実績	目標削減率	目標達成									
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	89.6 %	3.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達									
	(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 名称：空調エリア補正面積 計算式：空調エリア延べ床面積×運転時間 原単位：20.9千m ²	原単位当たり排出量 <table border="1"> <tr> <td>基準年度</td> <td>(6) 年度</td> <td>目標年度</td> </tr> <tr> <td>496.900</td> <td>51.700</td> <td>482.100</td> </tr> <tr> <td>kg CO₂/ (千m²)</td> <td>kg CO₂/ (千m²)</td> <td>kg CO₂/ (千m²)</td> </tr> </table>			基準年度	(6) 年度	目標年度	496.900	51.700	482.100	kg CO ₂ / (千m ²)	kg CO ₂ / (千m ²)
基準年度	(6) 年度	目標年度											
496.900	51.700	482.100											
kg CO ₂ / (千m ²)	kg CO ₂ / (千m ²)	kg CO ₂ / (千m ²)											
(該当事業者のみ記入)													
ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 6 年度)	達成率等									
【削減状況の自己評価】 新倉庫の稼働開始(空調稼働)，倉庫への空調設備稼働を開始したことで、原単位を見直したため目標達成の大きな要因となった。また、ISO14001の取り組みとして各部門がエネルギー使用量削減に取り組んだ(不要な電気の消灯など)結果も少しではありますが要因であると考えます。													

【推進体制】

ISO14001環境マネジメント組織による環境担当役員をトップとして、環境管理責任者および各部門のISO推進委員（実務担当者）が削減目標に従って環境負荷の改善への取り組みを行う。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
本社工場	<p>(令和6年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2フリー電力導入(CO2換算で年間約2600t-CO2削減)・・・継続 ・ボイラーカバーラップ取り付け(CO2換算で年間約6.6t-CO2削減) <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋根上への太陽光設備導入 ・構内照明のLED化 ・駐車場への太陽光パネル設置(カーポートタイプの太陽光パネル) ・曝気槽の廃止 ・コンプレッサーの吐出圧力低下による電力使用量の削減

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無
その他	無

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無
その他	無

【その他特記事項】

- ・クールビズ（5月～10月）、ウォームビズの実施。
- ・ISO14001環境マネジメントシステムの導入。（平成18年）
- ・安全衛生委員会でアイドリングストップなどの啓発を実施。
- ・2022年4月よりCO2フリー電力の導入。
- ・2022年1月よりカーボンニュートラル都市ガスの導入。
- ・グリーン製品購入の推進。
- ・Table for Two
- ・アイシティecoプロジェクト
- ・使用済み切手の回収
- ・周辺地域への清掃活動参加